

英語のブルーム(bloom)は開花期・花盛り・元気・健康真っ盛り・顔の健康色という意味です。

緑したたる季節になりました

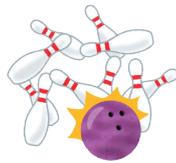
八重桜各店では、様々な季節行事を楽しんでいただきました

デイサービス八重桜 本店

【昔に戻ってこどもの日】 五月五日



こどもの日にはご利用者様の手形をうるこに見立てて作ったこいのぼりを飾って、皆様に見て頂きました。レクリエーションはご利用者様のリクエストでボウリングをしました。ストライクを取って喜ばれる方もいれば、全くピンが倒れずに残念そうな顔をされるご利用者様もいらっしゃいました。ピンが倒れるまで何度もチャレンジして頂き、最後には皆様の無邪気な笑顔が見られました。



【久しぶりの音楽セッション】

五月八日

感染症予防の為に、ご来客の方やボランティアの方も入館を制限していましたが、五月から制限が解かれボランティアとして音楽セッションの方に来て頂きました。久しぶりの音楽セッションでしたが、参加された皆様はとっても楽しそうで、癒しの時間を過ごせたようです。



【魚つりゲーム大会】 五月十四日



おなじみの魚つりは実際のつりより簡単で、時間制限、点数制のためか、いつも盛り上がっています。全部の魚を釣る勢いでたくさん魚を釣る方もいれば、点数の高い魚だけを慎重に釣る方もいらっしゃいます。点数を競いながらも応援し合う、素敵な皆様を見ることができました。

馳せ走る

食の匠

のひとりごと

突然のマグロにびっくり

西 勝康

先日、平城館の職員の方から「知人から送ってきたので使ってください」と十キロはあろうかと思われるマグロを一本いただきました。長らくこの大きさの魚はさばいていなかったし、厨房設備も調理道具もこのような調理を想定していないので少々思案しましたが、まずは自宅までプロ仕様の包丁を取り戻って何とか解体しました。それがこの写真です。入居者の皆さんや職員たちにお裾分けさせて頂きました。ごちそうさまでした。



デイサービス八重桜 朱雀



【書道】 五月四日

今月の書道は、たくさんの方が新元号の「令和」を選ばれていました。いざ書いてみると、まだ慣れ親しんでいないので、しっくりと来ないわという方が多く、何度も書き直しをされて納得がいく一枚を書き終わられた方は、あとからじっくりと「令和」という字をご覧になり、感慨深そうにいらっしやいました。

【手作りおやつ】 五月五日

今回は「柏餅がたべたい」という声にお応えしようとして、「柏餅風豆腐饅頭餅」を全員協力して作っていただきました。材料は豆腐とあんこです。利用者様と職員が一緒になって、こねて、丸めて、あんこをつめて、また丸めること一時間。見事完成しました。みたらし風の餡も作って、更に美味しくいただくことができました。



【カードめぐり】 五月二十三日

昭和に流行ったものを色々集めて、二枚一組のカードを幾つか用意しました。それらを裏返しバラバラに散らせて置き、表返してペアをそろえていき、そろったカードの数を競います。懐かしい物は印象が強いか、皆様、順調にクリアされていきました。



デイサービス八重桜 押熊



【みんなでカラオケ体操】 五月三日

カラオケの機械を使って、モニターに映された映像に合わせて体操をします。流れる音楽は、北国の春、りんごの唄、三百六十五歩のマーチ、我は海の子、メダカの学校など皆様に馴染みのある曲ばかりなので歌いながら体操していただいています。手をよく使う曲ではポンポンを持って、楽しみながら身体を動かされていました。

【お母さんありがとう！母の日】 五月十二日

この日は、お母さん達への感謝を込めた手作りおやつと職員のウクレレ演奏で、人生いろいろ、上を向いて歩こう、三百六十五歩のマーチ、ふるさと、真つ赤な太陽等を一緒に歌って楽しんでいただきました。手作りおやつは、イチゴ、バナナ、桃、マンゴー、パイナップル、グアバ等のフルーツを使ったフルーツポンチでした。色鮮やかなので食べるのが勿体ないと言われる利用者様もおられました。

最後に、手書きのメッセージを書いたハンカチをプレゼントして、写真も撮らせていただきました。



【たのしい花壇作り】 五月十七日

ペットボトルを半分に切って土を入れ花を植えていただきました。

お歳を召すと土に触る機会が少なくなるので、皆さんにやっていただけると心配していましたが、畑や花を植えたことのある方ばかりで、昔取った杵柄ではないですが上手に植えておられました。

手が上がらない利用者様には職員が手伝い、その後の水やりも出来る利用者様には参加していただいています。



デイサービス八重桜 平城

〔足の力比べ〕 五月五日



「足の力比べ」というレクリエーションを考えました。バスタオル四枚をガムテープで繋ぐと約三メートルの長さになります。それを足の力だけで引つ張るゲームです。椅子に二人が座り準備が完了。職員の合図によって開始です。足を懸命に動かしてバスタオルを引き寄せようと思いますが思うようにはならず苦戦、周りからは大きな歓声が上がり、遅い方だと一分以上かかりますが、全員がバスタオルの引き寄せには成功しました。大声をだす、足を動かす、ちよつたりハビリにもなり、楽しい時間を過ごせました。

〔母の日〕 五月十二日

今日は母の日です。ファミリーモア平城館にいらつしゃる女性利用者様全員が対象です。辛いこと、嬉しいこと、色々な出来事が詰まった人生だったと思われれます。そして現在静かな生活を手に入れられて楽しい時間を過ごされている利用者様に対して感謝の気持ちを込めて、手作りでき香り付きのカーネーションを作らせて頂きました。それぞれにお渡しして、記念写真をパチリ！とても素敵な笑顔になりました。毎日この笑顔の日々が続く様に我々職員一同、日々努力していきたいと思えました。



〔ボウリング〕 五月十四日

今日のレクリエーションはボウリングです。利用者様の大半は初めてのことです。テーブルにピンを並べてボールを転がしてみました。まっすぐに進まず見当違いのコースへ外れて大爆笑です。そこで職員と一緒にボールを投げてみるとアラ不思議！ボールは見事にピンを倒しました。それで少しコツを掴まれたのか、利用者様一人でもピンを倒せるようになり、ストライクが出たときには大はしゃぎとなりました。



県内銀行の新人社員さんの接遇研修を受けました

職場研修レポート

本日は貴重な時間をいただきありがとうございます。ご利用者様と接し、お世話させて頂くことで多くの学びを得ることが出来ました。利用者様が何かを取ろうとしていたので、その物を手渡すときに「どうぞ」と優しいトーンで話しかけ、目を見てニッコリとほほえむと利用者様も笑い返してくださいました。その時に、これがホスピタリティということなのかもしれないと感じました。

他にも、認知症の方が同じことを何度も言われても、新鮮な応答を繰り返して、プラスの言葉を投げかけることでご利用者様が徐々に心を開いてくださるのを実感でき、とても嬉しかったです。

一日の中で会話に困り、黙ってしまふこともあったのですが、そのようなときにご利用者様が話しかけてくださり、救われることが多々ありました。

接客する側される側という壁を越え、人として向き合ってくださいる方がたくさんいらつしゃり、デイサービス八重桜はとても暖かい場所だと感じました。ホスピタリティの心は、ご利用者様だけではなく職員の方々からも学ばせて頂きました。ご利用者様と親しげに、時には友人同士のようにくだけた会話をしつつも、相手への敬意や気づかいを忘れない対応に感銘を受けました。

桜の広場

例えば、しりとりゲームの時など、各々のご利用者様が思い思いの言葉を発する中、そのどの言葉も取りこぼすことなく対応し、かつ場が盛り上がるような言葉をポンと話される姿を見て、私もそのように思いやりがこもった柔軟な対応が出来るようになりたいと強く思いました。

他にもお手洗いにいこうとして立ち上がるご利用者様を見逃さず、必ず寄り添い手を貸すところを見て、いかに職員の方がご利用者様に注意深く気を配っているのかを知ることが出来ました。

お見送りする際も外まで出て、ご利用者様の姿が見えなくなるまで手を振るのを見て、最後の最後まで心安らかにしてもらおうという職員の方の気持ちを感じ取りました。このように暖かい職員の方が多いからこそご利用者様は安心してデイサービス八重桜に通い、笑い合うことが出来るのだと思います。

これからは銀行行員として多くのお客様とお話ししていくと思いますが、本日学んだ思いやりの心、ホスピタリティの精神、細やかな気遣い等を忘れずに励んでいきたいと思えます。

本日は本当にありがとうございました。

田中 京花

「父」

吉田 とみゑ



私は八重桜で勤めて早や十四年になろうとしています。私が介護の仕事をするようになったきっかけは、身体が悪くなった父のお世話をするためにヘルパー二級の資格を取得したことです。その最後の実習が八重桜でした。帰り際に求人の方のチャシをいただき、八重桜で介護の勉強をしっかりさせて頂こうと思いい、あらためて八重桜に電話して面接をしていただきました。数日後に「採用」という電話をいただいた時はとても嬉しかったです。これからは働きながらしっかりと介護の技術を身につけて、父に介護が必要となったときに役に立てようと思っていました。七年前に亡くなってしまいました。

私は後悔しなくなかったので、父が病院に入院した時から数カ月間、仕事が終わるとその足で高速道路に乗り加西の実家の病院に行きました。父の様子を見ながら、目が明いているときは少し話をして、目を閉じているときは顔を見ながら私もウトウトして一夜を明かし、朝また高速道路を走って仕事に戻っていました。当時は夢中になっていたので疲れも感じずに、何度も実家を往復しました。今思い出しても涙が出る思いです。亡くなる当日、先生から「もうダメです」といわれ、天理に葬儀の準備をするために戻っている途中に妹から電話があり「今なくなっちゃよ」と言われ、流れ出る涙をぬぐいながら高速を走り、準備を整えてすぐに父の元に行きました。病院につき、父の安らかな顔を見たときには涙があふれ出ていました。

父の最後の言葉は、父の世話をずっとしてくれていた「母の看取りをしてくれ」というものでした。これを遺言と心にしっかりと置いてあります。父が亡くなってからは、月に一度は必ず実家に帰り、母と一緒に墓参りしたり、買い物をしたりと安心させていこうと思っています。もし母に介護が必要になった時はしっかりと父の分までお世話させて頂こうと思今日この頃です。

俳句教室発表句 (敬称を略します)

竹の子の 顔を見るたび 九 思う顔
 竹の子良いですね、美味しい時期ですね!! 九 谷 正 子
 つばめさん つつきつついて 逃げていく 塩 谷 美代子
 そろそろ燕の季節ですね
 大正より 山川こえて 今和の春 伊 藤 ミヨ子
 令和元年、新しい幕開けですね
 父の日に もらった物は 母の手に 西 岡 裕
 確かにそうかもしれませんが、とても微笑ましい句ですね
 田植えする 昔や腰曲げ 今は機械 櫛 田 裕 子
 便利な世の中になりましたね
 宇治に来て 親友の心 八十八夜 西 川 愛 子
 ママ友と語り合った頃を懐かしく思います
 俳句よむ 今和の年に 君が代を 田 中 寛
 新時代の幕開け、愛国心を感じます
 風そよぐ 今和の空に 倉 司 壽 代
 新しい時代、風と共に思いが舞っていますね

今月の名言格言

挑戦しつづけている限り、
 人生に退屈するということはない

安藤 百福



● 公的介護保険指定事業 **デイサービス八重桜 (一般通所介護)**
デイハウス八重桜 (認知症対応型通所介護)
デイ&ナイト訪問サービス八重桜 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
 自主事業 **ステイケア八重桜 (短期宿泊所)** 公的介護保険指定事業 **居宅介護支援事業所 八重桜**
 〒630-8113 奈良市法蓮町410番地の2 〒630-8113 奈良市法蓮町410番地の2
 TEL:0742-20-7205 FAX:0742-20-7201 TEL:0742-25-5045 FAX:0742-25-0003

● 住宅型有料老人ホーム **ファミリーモア八重桜 平城館**
ファミリーモア八重桜 平城
 〒630-8106 奈良市佐保台西町123番地 TEL:0742-71-0243 FAX:0742-71-0244



● サービス付き高齢者向け住宅 **ファミリーモア八重桜 朱雀館**
デイサービス八重桜 朱雀
 〒631-0806 奈良市朱雀1-3-15
 TEL:0742-72-1131 FAX:0742-72-1130



● 住宅型有料老人ホーム **ファミリーモア八重桜 押熊館**
デイサービス八重桜 押熊
 〒631-0011 奈良市押熊町560番地
 TEL:0742-40-3300 FAX:0742-40-3301